

国際ワークショップ

循環型社会の形成を目指した東アジア地域の都市レベルでの連携と協力の模索

日時 2007年12月13日(木) 10:00-17:00
12月14日(金) 10:00-16:00

会場 関東学院大学関内メディアセンター

主催 循環型経済社会・日中韓都市比較研究会(注)

〒231-0011 横浜市中区太田町2-23 横浜メディア・ビジネスセンター(YMBC)8F TEL 045-650-1131

共催 学校法人関東学院、環境省

後援 (社)廃棄物学会、(社)海外環境協力センター

- ・みなとみらい線「日本大通り駅」又は「馬車道駅」より徒歩5分
- ・JR関内駅北口より徒歩5分
- ・地下鉄関内駅1番出口より徒歩5分

(注) 環境省3Rイニシアティブ特別枠研究の一つの「中国における廃棄物資源管理能力の向上に関する政策研究」に関わる研究者からなる研究会

趣旨

循環型経済/社会の構築に向けて、東アジア各国において様々な取組が行われている。しかし、資源や廃棄物がグローバルに移動している現在、東アジア地域での3Rの推進のためには、各国による廃棄物管理・3Rの主体的な取組努力と、地域全体での循環型経済・社会の構築を目指した政策調整や国際協力との、両者の調和の重要性が強調されるようになってきた。

本国際ワークショップは、以上の問題認識に立って、日本・中国・韓国の3カ国の廃棄物管理等に関わる研究者等が一堂に集まり、情報交流・討議を行い、東アジア地域における3Rの推進の上での政策課題や国際連携及び国際協力の方向を模索しようとするものである。ワークショップでは、特に、3Rの取組において重要な役割を果たす都市に焦点を当て、具体的には、ユニークな3Rの取組を進めている名古屋市、青島市、武漢市及び釜山市を取り上げ、そのケーススタディを通じて、具体性を持った討議検討を行いたいと考えている。

ワークショップのテーマ

循環型経済社会の形成を目指した東アジア地域の都市レベルでの連携と協力の模索

プログラムの概要—使用言語：日本語・中国語（逐語通訳）

(詳しくは裏面を参照)

13日 1. 基調講演：東アジアにおける3R推進のための課題

2. 日本・中国・韓国の循環型経済・社会の政策/取組、都市レベルでの都市生活系廃棄物管理の情報交換・・・取り上げる都市：名古屋市、青島市、武漢市、釜山市

3. 東アジア循環型経済社会の形成に向けた地域連携/協力に関する意見交換(パネル討議)

14日 4. 東アジア地域の都市レベルでの廃棄物資源管理能力の向上に向けて—日中韓の共同研究の展望

海外の招待者等

中国 王軍 青島市環境保護局 総工務師
林曉紅 青島理工大学
呉峰 武漢大学資源環境科学院副教授
李国慶 中国社会科学院
都市発展環境研究センター研究員
韓国 梁鎮宇 釜山発展研究院 主任研究員
崔允讚 釜山発展研究院 研究員

日本からの主な出席者(五十音順)

織朱實 関東学院大学准教授
鬼頭文隆 名古屋市環境局ごみ減量部長
小柳秀明 地球環境戦略研究機関北京事務所長
鈴木克徳 金沢大学特任教授
寺園淳 国立環境研究所循環型社会・廃棄物研究センター
国際資源循環研究室 室長
森口祐一 国立環境研究所循環型社会・廃棄物研究センター長
柳下正治 上智大学大学院教授
横田勇 静岡県立大学名誉教授
その他、アジア国際資源循環適正管理研究(3Rイニシアティブ特別枠)関係研究者

参加申込み 2007年12月7日(金)までに、下記までお申込み下さい。参加無料

申し込み先は <http://www.officeiris.co.jp/kokusaiws/form.html>

13日は一般の方を対象に公開で行いますが、14日は研究者中心の会議です。

問合せ先 kokusaiws@officeiris.co.jp

又は、上智大学大学院地球環境学研究科 柳下研究室

(〒102-8554 千代田区紀尾井町7-1 TEL/FAX 03-3238-4365)

学校法人関東学院
125周年記念マーク



国際ワークショップ:循環型社会の形成を目指した東アジア地域の都市レベルでの連携と協力の模索

プログラム

日時:2007年12月13日(木)、14日(金)

会場:関東学院大学関内メディアセンター

12/13 (木) M-803 会議室 (一般の方に 広く公開して 開催)	10:00-10:20	10:20-10:50	11:00-12:20	昼食	13:30-14:50	15:10-17:00
	司会:高橋若菜: 宇都宮大学准教授 開会挨拶 柳下正治:上智 大学大学院教授 歓迎挨拶 内藤幸穂:関東 学院大学理事長	1. 基調講演 東アジアにおける 3R推進のための 課題 (森口祐一:国立環 境研究所循環型社 会・廃棄物研究セ ンター長)	2. 日中韓各国からの 報告/発表 モデレーター:青正澄: 名古屋大学教授 都市における循環型経 済社会政策の現状と課 題 —都市生活系廃棄物 管理を中心として— ① 日本:名古屋市 (横田勇:静岡県立大学 名誉教授) ② 韓国:釜山市 (梁 鎮宇:釜山発展研究 院主任研究員)		2. 日中韓各国からの 報告/発表(続) ③ 中国:青島市 (王軍:青島市環境保護 局総工師) ④ 中国:武漢市 (吳峰:武漢大学資源環 境科学院副教授)	3. パネル討議 東アジア循環型経済社会の形成に向けた地域連携/ 協力の課題 —都市生活系廃棄物の管理に着目して モデレーター:鈴木克徳:金沢大学特任教授 パネリスト: 梁 鎮宇 王 軍 吳 峰(以上、発表者) 李 国慶:中国社会科学院研究員 織 朱實:関東学院大学准教授 鬼頭文隆:名古屋市環境局ごみ減量部長 小柳秀明:地球環境戦略研究機関北京事務所長 寺園 淳:国立環境研究所循環型社会・廃棄物研究 センター国立資源循環研究室室長 柳下正治:上智大学大学院教授
12/14 (金) M-801 会議室 (研究者中心 の会議)	10:00-12:30			昼食	13:30-16:00	
	4. 東アジア地域の都市レベルでの廃棄物資源管理能力の向上 に向けて—日中韓の共同研究の展望 予め登録された研究者による数件の発表が最初に行われ、その後 に自由討議を行います。 (1) 各都市の特徴的な政策・取組に関する相互理解と認識共有 座長:横田勇:静岡県立大学名誉教授 ① 日中韓の都市生活系廃棄物の管理の現状の検討 ② 都市において3Rを推進するための条件				—続— (2) 今後の研究協力の方向 座長:柳下正治:上智大学大学院教授 5. 閉会	